

平成29年度

10月期居宅介護支援部会議事録

| | |
|----|-----|
| 書記 | 久保谷 |
| 文責 | 鶴沢 |

| 開催日時 | | 開催場所 | |
|---|--|------------------------|--|
| 平成29年10月23日(月) 18時00分 ~ 20時00分 | | こども支援センターげんき5階研修室3 | |
| 出席者・講師など | | | |
| 居宅介護支援事業所73事業所 77名 | | 足立区福祉部 地域包括ケアシステム推進担当課 | |
| | | 課長 江連 嘉人氏 | |
| 次第 | | | |
| 1 部会長 挨拶 | | | |
| 2 地域包括ケアシステムの構築に向け、今ケアマネジャーが出来ること | | | |
| 3 事務連絡 | | | |
| 4 その他 | | | |
| 議事 | | | |
| 1.挨拶 | | | |
| ①台風の影響により、部会の開催検討。中川方面は避難勧告も出た。午後から晴れて無事に開催。 | | | |
| ②生活保護給付適正化 杉田氏より 10月から福祉用具貸与の場合、コード番号を申告する。業者と確認を！ | | | |
| ③11月10日(金) 介護の日 足立区役所アトリウムにて部会「相談コーナー」を出展。ぜひ来てください。 | | | |
| ④12月18日(月) 介護サービス事業者連絡協議会 交流会開催予定。丸井11階ギャラリーにて。 | | | |
| 2.地域包括ケアシステムの構築に向け、今ケアマネジャーが出来ること | | | |
| ①訪問介護の現状➡現在のヘルパー数 6,000人~7,000人?? | | | |
| 複数数の事業所に登録する非常勤があり、数字がつかみきれしていない。 | | | |
| ヘルパーの入れる時間数などサービスの限界の見極めは難しい。 | | | |
| 平成28年のヘルパー利用状況は、(要支援1~要介護5まで)142,000件。 | | | |
| 高齢者人口➡平成28年➡平成40年 前期高齢者より後期高齢者増！ この10年で大きく変わる。 | | | |
| 後期高齢者人口は、2倍になる！ | | | |
| 認定者➡平成28年31,084人(18.64%)➡平成40年45,843人(26.21%) 濃い塩分・薄い塩分 濃度変化。 | | | |
| 介護療養型病床➡廃止。重度の在宅要介護者増！ | | | |
| 生産年齢人口の減少➡ニーズが倍増するのに…倍増やさなきやいけないのに「減る」！➡早めに対応しなきゃ！ | | | |
| 「人材不足」！！ | | | |
| ②足立区の総合事業について | | | |
| 平成28年10月からスタート 一年経過100%切り替え | | | |
| 現在の指定申請数 訪問型84事業所(39.4%) 通所型50事業所(28.7%) | | | |
| 約8割はやりますとの返答だが、なかには返答なしも…。認識が薄いのか…。 | | | |
| どのような課題が想定されるか？➡事業所が指定を受けなかった場合、他事業所への引継ぎが必要。 | | | |
| ③訪問介護の将来を考える | | | |
| 訪問型サービスAの基準緩和の検討 研修の開催・サービスの質の担保と介護人材の確保 | | | |
| 国➡区へ 「(これからのことを)ちゃんと考えなきゃダメだ！」 介護難民を出さないようにしたい。 | | | |
| アンテナを張る・ネットワーク・スキームをつくっておかないと…。 | | | |
| ★グループワーク 講義を聞いて、「総合事業の質問・疑問」「今の予防サービスの課題」「足りないもの」 | | | |
| ➡各グループで話し合い発表する。 | | | |
| 総合事業➡指定事業者2/9リストが出る。区民研修について、ヘルパー研修との差、検討中。 | | | |
| 今の課題➡ヘルパーの高齢化・ボランティア少ない。予防プラン書式多い。区民の老い支度等教育必要。 | | | |
| 足りないもの➡ゴミ出しなどのちょこっとサービス・シルバー人材センター・団地内のサロン周知不足… | | | |
| ★まとめ➡本当に必要な支援について、現場のニーズを伺い、皆さんと話し合っ、一緒に考えていきたい。 | | | |
| 3.事務連絡 | | | |
| 次回11月27日(月) 午後6時から こども支援センター5階 | | | |
| テーマ:精神疾患を持つ利用者への支援について(仮) | | | |